

令和7年3月定例会

所管事務調査 中間報告書

産業建設文教委員会

令和7年2月18日

平戸市議会

議長 松本 正治 様

産業建設文教委員会

委員長 綾香 良浩

産業建設文教委員会所管事務調査中間報告書

本委員会において、「子どもたちを取り巻く教育現場及び社会体育施設の現状と課題について」所管事務調査を実施したので、中間報告書を提出する。

記

1. 調査事項（テーマ）

子どもたちを取り巻く教育現場及び社会体育施設の現状と課題について

2. 調査目的

本市教育委員会においては、「第3期平戸市教育振興基本計画」（令和2年度－令和6年度）に基づき、「ふるさとに誇りをもち明日を担う人材の育成と個性豊かな地域文化の振興」という理念のもと、「平戸の明日を担う人材の育成」「生涯にわたる学びの充実」「歴史・伝統文化の保存・継承・活用」を重点目標として、人口減少、高齢化、グローバル化といった急速かつ急激に変化する社会に対応するため、国・県の計画を参酌しながら着実に計画を推進している。

本委員会では、さらなる教育の振興を図るため、重点目標の「平戸の明日を担う人材の育成」の中で掲げる「ICTを活用した教育の推進」及び「学校給食環境の充実」、また「生涯にわたる学びの充実」の中で掲げる「スポーツ環境の充実」の3項目について、現地視察を行うとともに関係者との意見交換を通して、現状と課題について調査を行った。

3. 調査日

令和7年1月30日（木）

4. 調査項目

- （1）ICTを活用した教育の推進
- （2）学校給食環境の充実
- （3）スポーツ環境の充実
- （4）関係職員との意見交換

5. 調査内容

(1) ICTを活用した教育の推進

GIGAスクール構想実現後における教師のICT活用指導力と児童生徒の情報や端末の活用の現状について、市内小学校の視察を行った。

【現 状】

市内の小中学校では、GIGAスクール構想が実現し、①児童・生徒1人1台端末、②大型テレビ、③高速大容量ネットワーク、④指導支援・学習支援ソフト、⑤デジタル教科書、⑥GIGAスクール運営支援センター等の環境を整えたことで、ICTを活用した授業が日常的なものになっている。

【概 要】

平戸小学校6年生の社会科の授業を視察した。児童はタブレット端末で、教師から設定された課題をインターネットで調べ、自分の考えをタブレット端末に入力。隣の席の児童や、席を移動し他の児童にも見せ合いながら、互いに問題を出し合うなど、活発に意見交換を行っていた。また、児童が入力した回答が教師のパソコンに送信され、それを大型テレビで一覧表示し、一人ひとりの考えを全員で共有しながら、学級全体での話し合いにつなげるなど、効果的にICTを活用した授業が行われていた。

(2) 学校給食環境の充実

学校給食共同調理場における作業環境等について、平戸市立北部学校給食共同調理場を視察。栄養士から現状の説明を受けた後、栄養士及び調理員と意見交換を行った。

【質疑応答】※主な質疑応答を記載

Q：調理場での夏の暑さ対策はどのようにしているのか

A：北部学校給食共同調理場は2階建ての吹き抜けのため天井が高く、空調が効きにくい。そのためスポットクーラーで熱中症予防対策をしているが、広さや電力等の問題で置ける台数も限られており多くは置けない。現在は、こまめな水分補給や、少し具合が悪ければクーラーが設置されている休憩室で休んでもらうなどして従業員の体調管理には気を使っているが、室内は40℃ほどになるので、これ以上暑くなるととても厳しい状況である。

Q：児童生徒のアレルギーへの対応はどのように行っているのか

A：「平戸市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に沿って対応している。調理場はアレルギー対応食の作業スペースがとれないといった構造的なものや調理員の体制もあることから、アレルギーをもつ児童生徒各々に合わせた給食を提供することはできないため、献立の材料を詳しく記載した資料を保護者に確認をとっているほか、学級でも食べる前に先生が必ず確認をとっている。給食に食べられない食材がある場合は、おかずなど代わるものを家から持ってきてもらっている。

(3) スポーツ環境の充実

老朽化した社会体育施設の状況について、以下の3施設について現地視察を行った。

①シーライフひらど

【現 状】

平成7年から供用を開始し、建築から約30年が経過している。構造が木造であるため老朽化等も著しく、改修を行いながら現在に至っており、今後、大規模改修や建て替えを検討する必要性が生じている。

【概 要】

屋内・屋外プール、機械室の現状や課題について説明を受けた。至るところに改修を重ねてきた跡が見られ、施設の維持に苦慮している様子が伺えた。全体的に老朽化が進み安全面にも影響が出てきているため、早急な対策が必要な状況であった。

②ライフカントリー

【現 状】

平成5年から供用を開始し、建築から約30年が経過しており、木造である管理棟は老朽化も著しい状況となっている。また、多目的グラウンドの外周舗装路面や、野球場のバックネットフェンス及び観客席フェンスが老朽化し、計画的な改修が必要となっている。

【概 要】

管理棟には大人数で利用できる部屋がなく、多目的グラウンドで開催される各種大会や合宿などの際に、選手の待機場所や着替えるスペースの確保に苦慮しているということであった。また、野球場についても、至るところに劣化がみられ、選手や観客の安全面を配慮した改修の必要性があった。

③平戸市営相撲競技場

【現 状】

昭和44年に長崎県で開催された国民体育大会の会場として整備され、建築から55年ほど経過し経年劣化も著しく、改修を行いながら現在に至っている。また、亀岡神社の境内に隣接した護国神社の土地を借用して建設されており、駐車場も狭く各種大会時には関係者の駐車場の確保に苦慮している。

【概 要】

施設が屋外で海に近い、風（台風含む）や塩害の影響がとても深刻であった。また、県内の主要な相撲大会は、当施設で開催されることが多く、選手等は屋内で着替えるスペースがないため、屋外に設置したテントで着替えるなど苦慮している。令和6年度、長崎県に対して県有地での県営相撲競技場建設を要望したが、対応が困難という回答があったため、市有地を含めた移転の検討も視野に入れ、市相撲連盟とも協議していく必要があるということであった。

(4) 関係職員との意見交換

現地視察を踏まえた現状と課題について、教育委員会職員と意見交換を行った。

【質疑応答】※主な質疑応答を記載

Q：教師のICTを活用した指導力に差があるのではないか

A：「GIGAスクール運営支援センター」にヘルプデスクが設置されており、電話で問い合わせすればいつでも質問や相談できる体制がとられている。また、ICT技術向上のため定期的に全教師に対して研修を実施し、全体のスキルアップが図られているため、年齢等によって多少差はあるものの、導入時と比較するとスキルの差はあまりなくなってきた。 (学校教育課)

Q：今回視察した学校は、ICTが効果的に活用されていたが、他の学校も同じレベルのカリキュラムがあるのか

A：独自のカリキュラムを設けている学校もあるがすべての学校ではない。今回視察した平戸小学校では、火曜の午後から全学年一斉に15分程度サイバータイムを設け、操作スキルの向上やタイピング技術を磨いている。このような各学校のいい事例を他の学校とも共有し、全体のレベルアップにつなげている。 (学校教育課)

Q：いずれの社会体育施設も建設から時間が経過し経年劣化が進み、抜本的に建て替えの時期に来ている。全部を一度にやり直すのは財源的に厳しいことから、優先順位を付ける必要があると思うがいかがか

A：今日視察した社会体育施設以外にも老朽化した施設はたくさんあるので、集約も視野に入れ優先順位等については、近隣他市の状況も参考にしながら今後調整していく。ただ、「シーライフひらど」については、特に腐食等劣化が激しく危険性を伴うため、令和7年度に調査を行い建て替えか改修か検討するようにしている。 (生涯学習課)

Q：新たに社会体育施設を整備するということだけでなく、既存の施設を有効に使い利用頻度を高めるような施策も必要と考えるがいかがか

A：既存の社会体育施設を多目的に活用することは非常に重要と考える。市民の使いやすい施設となるよう、今後、整備方針を立てたうえで一つ一つ整理しながらハードだけではなくソフトと一体となった整備を考えていく。 (生涯学習課)

Q：学校給食共同調理場に関しては、熱中症対策が急務であるがどのように考えているのか

A：調理員が作業しやすい環境を整えることが重要である。今後も受託業者とも協議をしながら対応していきたい。 (教育総務課)